

# NAFTAとUSMCA

- 2016年大統領選挙で勝利したドナルド・トランプ氏は就任前から**北米自由貿易協定（NAFTA）**（1994年発効）の見直しを主張し、2017年8月に**米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）**の交渉を開始、2020年7月に発効した。
- 2026年7月にUSMCAの見直しが行われ、3カ国が合意した場合は合意時点から16年間の2042年まで延長。合意しない場合は、それ以降毎年の見直しが必要に。

## トランプ第1次政権（2016～2020年）

- ◆ USMCAは、米墨間では2018年8月27日に暫定合意。米加間でも9月30日に合意に至り、11月30日に署名された。2019年12月10日に一部内容を変更する改定議定書に署名。各国議会における批准承認を経て、2020年7月1日に発効。

## バイデン政権（2021～2024年）

- ◆ メキシコ内での労働権侵害による米労働者の競争力低下を懸念し、USMCAで新設された「事業所特定の迅速な労働問題対応メカニズム（RRM）」を用いて、事業所単位の調査を政府主導で開始することも含めて、メキシコ政府に労働権侵害を是正するよう相次いで要請した。

## トランプ第2次政権（2025年～）

- ◆ 2025年12月末時点でメキシコに対し25%（カリウムは10%）、カナダに対し35%（カリウム、エネルギー製品は10%）の追加関税を発動。ただし、USMCA原産性を満たす製品については例外措置が適用される。
- ◆ トランプ氏は2026年に行われるUSMCAの見直しで、中国などの国がメキシコを経由して自動車部品を無税で米国に輸出することを防ぐ文言規則を盛り込むとしている。